文部科学大臣認定　教育関係共同利用拠点 / 食と環境のつながりを学ぶ複合生態フィールド教育拠点

フィールド環境学

東北大学のフィールドで食と環境とのつながりを体験しよう!

令和8年 9/16～18　東北大学 川渡（かわたび）フィールドセンター

対象：大学学部1年～4年
※2泊3日で単位取得可能!!

フィールド環境学

食糧生産が環境によって支えられていること、その恩恵を受けて人間が生活できていること、また食料生産をはじめとする人間活動が環境に影響を及ぼしていることなどを、わが国髄一の規模を誇る東北大学川渡フィールドセンターで学びます。広大なフィールドでの体験を通して、食と環境問題について自分の力で考える能力を養成します。

科目の概要

＜フィールド講義＞

食育実習を通して人・農・食のつながりについて学びます。また、植物・動物・微生物などの生きもの、あるいは土壌や水質などの環境を専門とする教職員が、水田と稲・草地と家畜・動物環境と微生物・森林の生きものの多様性・農畜産物の生産と環境について、フィールドで作物や家畜などに触れながら講義を行います。

＜課題研修＞

グループに分かれて、それぞれのテーマについてフィールド調査・実習を行います。そのまとめとして、調査・実習の成果をグループごとに報告し、議論を通して食を支える環境について学習を深めます。

※昨年度のテーマは、「イネと水田」・「水と農林水産業」・「森とキノコのはたらき」・「草地と家畜」でした。今年度の内容は検討中です。

対 象

大学学部1～4年（専門を問いません）
※学都仙台コンソーシアム・単位相互ネットワーク登録科目

スケジュール

9/16（水）	ガイダンス、フィールド講義
9/17（木）	フィールド講義、各グループに分かれて調査・実習
9/18（金）	各グループでのまとめ、成果報告と「食と環境」について議論（夕方解散）

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、日程の短縮または中止、およびそれに伴い費用が変更される場合があります。

費 用

宿泊・食事：約 5,000 円（16 日昼食～18 日昼食）
※この他に、実習に伴う費用、バス利用料2,800円（学都仙台以外の利用者のみ）が必要です。

履修申込み

学都仙台コンソーシアム・単位相互ネットワークの登録科目です。
単位取得を希望する学都仙台コンソーシアム加盟校の学生は、在籍する大学の担当窓口で締切を確認し申込みください。**その他の大学・高等専門学校の学生は、4月30日（木）**までに、川渡フィールドセンター共同利用担当までお申し込み下さい。

アクセス

▶ 仙台からJR　仙台～（東北本線）～小牛田～（JR陸羽東線）～川渡温泉
　　仙台～（東北新幹線）～古川～（JR陸羽東線）～川渡温泉

TOHOKU UNIVERSITY

お問い合わせ

東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター
〒989-6711 宮城県大崎市鳴子温泉字蓬田 232-3

教育関係共同利用担当

TEL：0229-84-7311　E-mail：kyodou-riyou@grp.tohoku.ac.jp
URL　http://www.agri.tohoku.ac.jp/noujou/index.html

▲ 申込はこちら